

第36回日本神経免疫学会学術集会

イブニングセミナー 4

MG 診療の舞台裏

～ 専門医が知っておくべき AChR 抗体測定法のこと～

重症筋無力症 (Myasthenia Gravis, MG) は、神経筋接合部のシナプス後膜上にあるいくつかの標的抗原に対する自己抗体の作用により神経筋接合部の刺激伝達が障害されて生じる自己免疫疾患である。アセチルコリン受容体 (AChR) 抗体の測定は MG の診断、治療効果判定、経過観察などにおいて重要な役割を果たしている。一患者の経過の中では筋無力症状と抗体価が一致して変動することが見られる一方、測定初回の抗体価が高いから重症、低いから軽症という訳ではないことは周知の通りである。

抗体価についてどのような説明を行うのか、AChR 抗体測定の特徴を改めて理解し、専門医が発信すべき情報についての私見を述べたい。加えて、本邦では、AChR 抗体は放射性同位元素を用いた RIA 法で測定されているが、2022 年に ELISA 法による測定法が開発され、体外診断用医薬品として承認された。

このたび国内承認された ELISA 法について、実臨床検体を使用してその臨床的有用性を評価した。本セミナーでは、ELISA 法で得られた結果について、臨床的な観点からの解説を行う予定である。また、測定法の変遷や Cell Based Assay 法への期待など今後の展望についても触れたい。

座長

総合花巻病院 脳神経内科

長根百合子 先生

演者

脳神経内科 千葉・医療法人同和会神経研究所

川口 直樹 先生

日時

2024 年 10 月 4 日 (金) 17:30 ▶ 18:30

会場

第 2 会場 富山国際会議場 2F 201・202

本セミナーのご聴講は、第36回日本神経免疫学会学術集会への参加登録が必要となります。
本セミナーは事前予約制ではありません。聴講券の配布はございませんので直接会場にご来場ください。
詳細は、学術集会ホームページ (<https://smartconf.jp/content/jsni36/>) をご確認ください。



The Japanese Society for Neuroimmunology
日本神経免疫学会

EUROIMMUN



JAPAN

[共催] 第 36 回日本神経免疫学会学術集会 | EUROIMMUN Japan 株式会社